



2023年2月号

FUNs通信

就労移行支援事業所FUNs

第27号

〒252-0233 神奈川県相模原市中央区鹿沼台2-11-6 淵野辺サトウビル2階
Tel:042-813-0809 Fax:042-813-3231 Email: info@funs2020.co.jp

アウトカムの時代へ

「どこにどういう視点を向けて支援を行う」か。私個人的には、ケースや状況によって変わるべきであると思っています。標題の「アウトカム」のほかには「ストラクチャー」「プロセス」など、今まで福祉業界で「評価」という意味を差してきた用語があります。

ストラクチャーとは、構造・組織などと訳せます。ご利用者様に対して十分な人的配置が出来ているかといった等の視点です。間違いなくそれは、報酬単価などにも影響がありますし、市からの指定を受けるときに重要なファクターです。

プロセスは、過程・工程でしょうか。ご利用者様に対して、どのように計画を立てたか、それは有効的か、その計画に対して効果的な支援をしたか。事業所の内部ではこれを非常に重要とし、ご利用者様の満足感を高めるため日々職員は鋭意努力を重ねていると言っても間違いはないと思います。

そして標題のアウトカム。結果ですね。今年度のFUNsは10の方が就労・内定を頂いていて、各種委員会も隔月実施を行い、スタッフの研修参加率も月平均2.5件の実績があります。就労移行や訓練等給付のサービスだと、プロセス同様、外部にアピールしていかなければならない部分だと思っています。

1月11日にメンタルヘルス研修を受けてきました。非常に内容が良く、ここ数年では一番響いたなと思える研修でした。講師の鈴木様は強度行動障害の自閉症の方が多数所属するB型施設の施設長の立場で、「今後アウトカムの時代になっていく」とお話しされる場面がありました。しかも憶測ではなく厚生労働省で検討している事実も含めてお話しいただきました。

就労移行支援や自立訓練などは顧客を定期的に確保しなければならない要素が高いサービスです。アウトカムが大事！からアウトカムが当たり前！に変わっていくこの情勢。個人的にはアウトカムのためのプロセスと、アウトカムから逆算するプロセスの両側からご支援を厚くしていきたいと考えています。（紙谷）

2月のスケジュール

2月 行事予定

2月14日 バレンタインデー（FUNsでは何もしません！）

2月15日 FUNsフェス

見学・体験に来ていただける皆様へ！

FUNs通信やパンフレット配布、インスタグラムやTwitterなどで広報活動を行っており、FUNsオープン当初に比べるとFUNsの事をたくさんの方に知って頂けたなと感じることが増えてきました。うれしい限りです。

就労移行支援事業所は相模原市内に16事業所があります。どの事業所にも特色があります。PCに強い事業所もあれば、実習先が豊富な事業所、お昼御飯を提供している事業所など、どの事業所も魅力いっぱいだと思います。

そんな中でFUNsのアピールポイントはやっぱりプログラムだと思います。FUNsのプログラムはご利用者様の「したい」が詰まっています。ご利用者様一人一人の「したい」「こうなりたい」を実現することで活気や希望へと繋がっているように感じます。だからこそFUNsはいつも活気に満ちているのだと思います。

就労移行支援サービス利用をお考えの皆様には見学の第一歩を踏み出して頂ければなと思っています。最初の問い合わせはドキドキすると思いますし、不安もあると思います。ですがその一歩は皆様の人生の大きな一歩となる可能性がある一歩です。2023年は兎年です。皆様の大きな飛躍のお手伝いできればとFUNs職員一同思っています。

まだ少し一歩を踏み出すのが怖い、不安と思われる皆様にはFUNsのHPで日々をつづったブログ、日々の様子をご利用者様の許可のもと掲示しているインスタグラムや、Twitterなどを見て頂ければと思います。

FUNsではまだまだご利用者様を募集しています。皆様からのお問い合わせを心よりお待ちしております。（羽藤）

編集後記

1月に就労がきまったUさん。おめでとうございます！忙しい方が、難しい方が、モチベーションが上がる！とLINEが届きました。なんて素晴らしい。私は樂をしがちなもので、Uさんを見習ってもう少しだけアクセルを踏んでいこうと心に決めました。（紙谷）

第三回 昔の写真を顧みるシリーズ

皆様ご存じのFUNsのマスコットキャラクターのましゅめろんです。試作的に作った紙粘土の模型の写真なのですが、思えばこのましゅめろんにかなり助けられたなと思います。FUNsの職員をイメージしたましゅめろんは8色で、戦隊ヒーローのようにキャラ付けがあったりします。赤ましゅは辛い物が好きなサビ



管の紙谷といった感じです。そして黄色のましゅ（私）がTwitterを担当しています。この丸い癒し系のましゅの咬きは要チェックですよ。（井川）

季節の境目には何投げますか？いや食い気でしょ！

2月といえば「節分」ですが、節分ってなんだろう…ということで、改めて調べてみました。「節分の日」は「2月3日」とされていますが、実際はそうとも限らないそうです。

「立春の前日」と定められているため、2月2日や2月4日など年によって変わることがあるようです。

「節分」とは「季節の節目」…「立春」「立夏」「立秋」「立冬」と4つあります。昔は「立春」が「新しい年の始まり」とされていたので、2月に邪気を払い無病息災を願う行事が出来たようです。

節分といえば豆まき。そして最近では恵方巻。

「無言で一本食べきる」余裕です。まったく苦になりません！美味しいですもの！

知りませんでした、他にも節分の日食べるものがあるそうです。

「こんにゃく」「イワシ」「そば」「けんちん汁」「くじら」それぞれの意味があるそうなので、ぜひ調べてみてください。（田中）

利用者リレーコラム～こんちわ！おもてなしします！

今回のFUNsフェスの外食では、淵野辺駅近くの本格カレー屋「ナマステパウナガル」さんに行っていました。私は、以前から食べに行っていますが、普段は日替わり一択で、あまり豪華に食べません。ですが、今回は・・・

メンバーは紙谷さんと山岸さんと利用者さん4名で行きました。私はタンドリーチキンがついたセットを選び、外は生地がサクサク、中はジャガイモがほくほくのサモサがついたセット、女性におすすめのセットをそれぞれが注文。選んだカレーもバターチキン、豆、マトンなど、カレーはそれぞれでした。

ナンとライスはおかわり自由ですが、ナンは非常に大きいため、女性にはきついかもかもしれません。このお店のカレーは普通でも十分辛いですが、激辛を選んだ紙谷さんと利用者さんの一人は大丈夫と言い、さらに唐辛子を足していました。

非常においしいので、淵野辺駅に来たらぜひ食べてみてください。（吉田）

Fuchinobe Unique Navigations Info

プログラム特集1 ～FUNsの誇り～

FUNsが誇れることの一つに「プログラムを考える」「プログラムをアレンジする」があります。一週間で15の枠組みがありまして、最低でも一つの枠で2つのプログラムを行っています。1月23日～1月27日を例にすると、39のプログラムを行っています。

もちろん今まで貯め込んだプログラムもありますが、参加されるご利用者様に合わせてアレンジをしていますし、ご利用者様を想定し新規でプログラムを作ることもあります。

スタッフの性格がすごく出ます。緻密派、ライブ派、熱量派、対話派、、、ちなみに私は熱量派だと思っていますが、緻密派のスタッフを陰で尊敬しています(笑) (須永)

プログラム特集2 ～緻密に構成しています～

緻密派の私がFUNsで行っているプログラムをご紹介します。先日、「楽しく話そう」というSSTプログラムを行いました。座学で注意点や心構えを伝えることは大事だと思いますが、やっぱりコミュニケーションや会話は生きたものです。相手や環境、場面が違えば自ずと変わってきますし、臨機応変さや相手の意図や周囲の様子などを感じ取り、自身で判断し対応することが求められると思います。ですので定期的にこの「話す」プログラムを行っています。

最初は緊張するとは思いますが、そこは話しやすい空気や取っ掛かりを職員が意識して作りますので、安心して頂ければと思います。話すことは自己理解・ストレス発散にもつながります。他者を知る、聞き出すトレーニングにもなります。

FUNsではたくさんコミュニケーションの場面を提供しています。どのプログラムでも大事にしていることは楽しむこと！楽しむことで苦手意識や恐怖心を少しでも軽減していければと思っています。（羽藤）

プログラム特集3 ～公開プログラム～

今後、外部の方に対して「公開プログラム」を検討しています。緊張しているスタッフを見に来ていただければ幸いです。ご案内は、また後日お送りいたします！（山岸）

拝啓 育桜福祉会 あかしあ園 施設長様

学生時代、毎日のように遊んでいた友人が某法人の施設長になり、相模原市のメンタルヘルスの研修を担っていました。研修後、30分ほど昔話。仕事の話も遊びの話も出来る彼を尊敬します（紙谷）